令和3年度育英講演会

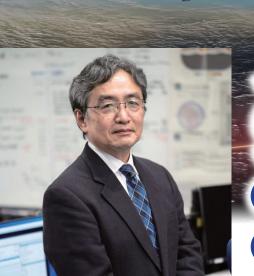
公益財団法人 飯塚毅育英会

「小惑星探査機「はやぶさ2」の挑戦とその成果」

- 1.太陽系と生命の起源の謎を探るミッション
- 2.太陽系誕生時の物質を持つ小惑星リュウグウ
- 3.初代「はやぶさ」の教訓と「はやぶさ2」の意義
- 4.探査機自身が考えて行動する自律航法の技術
- 5.人工クレーター作成など数々の世界初の成果



帰還巡航運用計画



令和3年 9月18日(土) 13:00~14:45

- 全場 宇都宮東武ホテルグランデ 6F「龍田」
 - 宇都宮市本町5-12 TEL028(627)011
- 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、宇宙科学研究所(ISAS) 准教授理学博士

「はやぶさ2 |ミッションマネージャ

吉川真氏

講師プロフィール

1962年、栃木県栃木市生まれ。東京大学理学部天文学科卒業。同大学院卒業。日本学術振興会の特別研究員を経て、1991年からは郵政省通信総合研究所に勤務。1996年にはフランスのニース天文台に1年間派遣される。1998年に文部省宇宙科学研究所に異動。2003年10月からは、組織の統合により、現在に至る。専門は天体力学。小惑星や彗星といった太陽系小天体の軌道解析が専門。現在は、人工衛星や惑星探査機などの軌道決定について研究も進めている。小惑星探査ミッション「はやぶさ」では軌道決定を担当し、ミッションの後半ではプロジェクトサイエンティストを、そして最後にはプロジェクトマネージャを兼務した。また、太陽系小天体探査検討チームのリーダーとして「はやぶさ2」プロジェクトを立ち上げ、プロジェクトマネージャを経てミッションマネージャを務めている。天体の地球衝突問題(プラネタリー・ディフェンス)に関する研究やその重要性を広く認識してもらう活動も進めている。科学誌「Nature」が選ぶ2018年の10人(The 2018 Nature's 10)に選出された。

参加申し込みはこちら▶



●主催/公益財団法人飯塚毅育英会 ●後援/栃木県・栃木県教育委員会・栃木県高等学校長会・下野新聞社 当育英会の創立者飯塚毅氏は株式会社TKC (東証一部:証券コード9746) の創業者です。



「はやぶさ2」/H―IIAロケット26号機 打ち上げ



「はやぶさ2」 運用中の管制室



小惑星探査機 「はやぶさ2」 の記者説明会 (2020/09/15/Sep.15,2020) 小惑星リュウグウと1998KY26 大きさの比較



「はやぶさ2」運用中の管制室 2列目右端が吉川 真氏

公益財団法人 飯塚毅育英会

本会の設立者飯塚毅博士(株式会社TKC創業者)は、大学在学中、東京大学末延三次博士の奨学資金の給付を受け、経済的に困窮すること無く学業を全うし得たことに忘れえない恩義感を抱き、自らの出生地であり、また事業の基盤である栃木県における教育・育英に関する奨学事業に永年関心を寄せてきました。飯塚毅博士は、平成7年12月に財団法人飯塚毅育英会を創立し、「自利トハ利他ヲイフ」の理念のもと、究極の事業は教育であるとの精神を貫き、栃木県出身の大学生(栃木県内の大学に在籍する外国人留学生を含む。)及び研究を目的として海外に留学する大学生・大学院生で、学業が優れかつ健全な心身を持ちながらも、経済的な理由により就学が困難な者に対する資金援助を行い、もって将来社会に貢献しうる有為な人材を育成することに貢献してまいりました。

本会では、飯塚毅博士の精神を受け継ぎ、本会奨学生の皆さんが大学生活をより充実したものとすると共に、社会に 貢献し得る有為な人材としてより一層成長されますことを支援する目的で、機関誌『刮目』の発行や育英講演会を開催して おります。育英講演会は、講演を通じて奨学生の健全な心身の育成に寄与することを目的とするもので、本年で第15回目 を迎えることになりました。

本年は、講師に「はやぶさ2」ミッションマネージャの吉川真氏をお招きし、「小惑星探査機「はやぶさ2」の挑戦とその成果」の演題でご講演いただきます。講演を通じて、奨学生(OB・OG含む)の今後の生き方に少しでも寄与することを目的としています。